

日比谷アメニスグループが提供する環境価値

私たち日比谷アメニスグループでは、持続可能な社会を実現するためにさまざまな活動を行っています。ここでは、活動が社会に提供している環境価値を植木の植樹本数・緑地の管理面積・使用電力の再エネ率・紙の使用削減量として数値的に示す各種データをご紹介します。

高木の植樹本数 6,335 本

1 位：ソノバが1575本、2 位：ソノバが349本、3 位：キョウキが276本、4 位：イロハが257本、5 位：ウツクスが211本

中低木の植樹本数 363,574 本

日比谷アメニスグループは、緑地が12万人の心を癒しています。心づくしをすることで、都市環境の改善につながります。



2021年4月～2021年12月の間で、緑地・中低木の植樹が2,476本、高木の植樹が6,335本実施されています。





緑地の管理面積 968 ha

東京ドーム 207 個分の面積にあたります。

緑地の管理を通じて自然とつながることで、オフィスビルやマンション等のよりよい環境をつくり、社会の持続可能性を高めます。これらを通じて社会が自然環境への貢献も果たしています。



2021年4月～2021年12月の間で、緑地・中低木の植樹が2,476本、高木の植樹が6,335本実施されています。

使用電力の再エネ率 1% → 24%

2021年2月時点 2021年5月時点

再生可能エネルギー電力への切り替えにより削減できCO₂排出量の削減量 612t-CO₂/年

再生可能エネルギー電力への切り替えにより削減できCO₂排出量の削減量 612t-CO₂/年



2021年4月～2021年12月の間で、再生可能エネルギー電力への切り替えにより削減できCO₂排出量の削減量 612t-CO₂/年



前年度からの紙の使用削減量 42,110 枚

今年度の紙の使用量 1,375,443 枚（前年度から3%削減）

オフィスにおけるペーパーレスの取り組みにより、紙の使用量を削減することができ、紙の削減が実現されています。また、紙の削減が実現されています。また、紙の削減が実現されています。



2021年4月～2021年12月の間で、紙の使用量を削減することができ、紙の削減が実現されています。
